

「心が聴こえる市政の会」所属議員の一般質問について

令和元年9月定例会及び12月定例会における一般質問とその答弁

9月定例会

8月30日(金)～9月24日(火)の
26日間

所属議員の
質問動画はコチラ



<http://toyota-shigikai.jp/movies1230.html>



12月定例会

12月6日(金)～12月23日(月)の
18日間

所属議員の
質問動画はコチラ



<http://toyota-shigikai.jp/movies1244.html>

「情報バリアフリーなまちづくりをめざして」をテーマに一般質問しました! (一部抜粋)

意思疎通支援事業のあり方について

Q.質問 設置手話通訳者の現状と要約筆記者の拡充、さらなる周知に向けた取り組み状況は?

A.答弁 手話通訳者は全体で817件の対応状況(平成30年度実績)。設置している障がい福祉課以外へ出向くこともあり、稀に聴覚障がい者の来庁が重なった場合、お待ちいただく場合もある。要約筆記者は直ちに増員を図る必要性は感じていないが、要約筆記の後継者育成は課題。聴覚障がい者には、手話通訳が必要な方と要約筆記が必要な方がおられることの周知に取り組んでいる。

障がい者コミュニケーション政策について

Q.質問 コミュニケーション条例に盛り込む内容は?また手話言語条例を作る考えはあるのか?

A.答弁 ①障害者基本法で言語とされている手話への理解を深め、気兼ねなく手話を利用しコミュニケーションを図ることができる環境を整える。②障がいの特性などに応じた多様なコミュニケーション手段の利用促進。具体的な内容については、広く意見を聞き、議論を深め、構築していく。手話言語条例については、地域共生社会の実現を目指すといった大きな理念に向けて取り組んでいく。

「本市におけるインクルーシブ教育のあり方」をテーマに一般質問しました! (一部抜粋)

障がいのある子どもの現状

Q.質問 ①市内小・中学校の特別支援学級の児童生徒数の推移は?②通級指導教室を利用している児童生徒数の推移は?

A.答弁 ①平成29年度が615人、平成30年度が690人、令和元年度が720人と年々増加。障がい種別は、自閉症・情緒障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱・身体虚弱、難聴、弱視、言語障がいの7種別あり、最も多いのが自閉症・情緒障がいで465人、次に多いのが知的障がいで202人。②平成29年度が220人、平成30年度が196人、令和元年度が149人。

障がいのある子どもへの支援の取組

Q.質問 インクルーシブ教育推進に向けた今後の取組は?

A.答弁 障がいのある子どもも、そうでない子どもも共に学び生活できるような校内のバリアフリー化等の環境整備を計画的に進めていく。今後も各学校で行われている福祉実践教室や道徳科の授業を通して、障がい者理解を深めながら、特別支援学級の児童生徒が通常の学級で学ぶ「交流及び共同学習」を充実させていく。

「心が聴こえる市政の会」所属議員の討論について

令和元年9月及び12月定例会における賛否討論

賛成 豊田市立南部休日救急内科診療所の整備に関する条例

救命救急センターの軽症患者の分散化には、新たに1次救急診療所を整備する必要があると考えます。また、1次救急診療所を南部にも開設してほしいという声も多く、さらなる救急医療体制の向上を期待し、賛成とします。

賛成 子ども・子育て支援法の改正に伴う保育料の無償化等に関する条例の改正

対象施設に通う3～5歳の子どもの保育料が全額無償化になり、また、豊田市こども発達センター、こども園と両施設に通う場合でも、両方とも無償になることが分かりました。さらなる子育てしやすい環境づくりが進むことを期待し、賛成とします。

賛成 後付け安全運転支援装置設置費補助金等に関する補正予算

高齢者のドライバーのアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が多発している中、後付け安全運転支援装置をつけるのに、購入者の負担が軽減され、さらなる普及が期待できると考え、賛成とします。

賛成 豊田市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例

教育委員会の組織である文化財課及び美術館を、市長部局である生涯活躍部に権限移譲を行うことにより、意思決定や事業の調整の迅速化及び円滑化につながるという点を評価し、賛成とします。

賛成 豊田市学校給食センター条例の一部を改正する条例

新しくできる豊田市北部給食センターでは、アレルギー対応給食を1日100食提供できるようになり、現在よりも拡大・充実ができるという点で、賛成とします。

賛成 豊田市子ども総合計画の策定について

子どもの貧困対策について、明確に位置付けられるようになり、子どもの権利が保障され、子どもたちが幸せに暮らすことのできる社会を目指す本市の考えを評価し、さらなる子どもの権利保障の向上を期待し、賛成とします。

反対 市長や市議会議員等の期末手当(ボーナス)を引き上げる条例の改正

議員の報酬や特別職職員の給料については、民間の平均の待遇に比べると高額であり、市民感覚と乖離しており、引き上げの必要性はないと判断し、反対とします。

不同意 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書

子育て支援や障害者・児施策の拡充については評価できますが、総合的にみると、すでに実施、対応していたり、要望としては適切ではないところもあるため、不同意とします。

「心が聴こえる市政の会」政務活動費の執行状況について

平成31年4月から令和2年1月までの執行状況

項目	執行金額(円)	使用目的
研修費	242,622	「地方議員のための議会運営の基本と戦略」、「地域福祉政策の立案に向けて」、「地域福祉政策の実践に向けて」、「議会改革の効果を検証する」、「議員が守るべき政治倫理」などの各種セミナーほか
調査研究費	55,380	「聴覚障がい教育及び手話言語獲得について」(金沢市)、「設置手話通訳者等について」(白山市)、「手話通訳者養成について」(前橋市)、「市議会における情報保障について」(戸田市)ほか
要請・陳情活動費	17,296	「聴覚障害者における社会環境の整備を求める要望書」(東京都)
意思疎通支援者謝礼(手話通訳等)	173,929	上記のセミナーや視察等にかかる手話通訳者等意思疎通支援の派遣
合計	489,227	

※政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部を補助し、議員の政策形成能力や審議機能の強化のために、会派及び議員(会派に所属する者を除く。)に対して交付しています。交付額は年間60万円以内で、余ったら市に返還しなければならないというルールがあります。各派の執行状況については豊田市議会ホームページや豊田市役所南庁舎1階にある市政情報コーナーで閲覧できます。

市政・議会に関する意見や要望などがございましたら、お気軽にご連絡ください。

【発行】豊田市議会「心が聴こえる市政の会」豊田市西町3-60(議会内) FAX.34-6566 【所属議員は耳が不自由です。ご連絡の際には、FAXかメールにてお願い申し上げます】
【発行責任者】中島 竜二 豊田市花園町屋敷62-1 リヴェールA202号 FAX.53-1499 E-mail:nakajimaryuji@outlook.com

